



関口 紫野 (ソプラノ)



田母神 夕南 (ピアノ)



京須 公美 (トランペット)



佐藤 響 (ピアノ)



吉田 麻理紗 (ソプラノ)



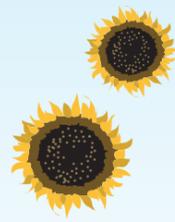
小座野 春奈 (ソプラノ)

♪新人演奏会出演者の声

○今日演奏したホールは、幼少に参加していたコンクールでも弾いた思い出のあるホールです。五年ぶりに弾かせていただき、また地元千葉でこのような素敵な演奏会に出演させていただきありがとうございます。今後もさらに研鑽を続け、千葉県の皆様にも素敵な音楽を届けられるように精進していきたいと思えます。

○地元である千葉県で演奏する機会をいただけて、とてもうれしく思います。音楽の素晴らしさを改めて感じることができました。

○高校生の時に合唱部の定期演奏会で三年間歌わせていただいた思い出のホールで、再び歌えたことがとても嬉しいです。拍手が起るたびに千葉



の方々の優しさに改めて触れることができました。これからも一層精進していきたいです。

○とても楽しくのびのびと歌うことができました。今日の皆様のあたたかな拍手を忘れずに、これからも精進してまいります。どうもありがとうございました。

○今回の曲は、自分にとってとても挑戦的な曲で、本番に間に合うかどうか不安でしたが、素晴らしいホールとあたたかいスタッフとお客様と同期のおかげで、気持ちよく楽しく歌うことができました。

これからも今以上に努力していきたいと思えます。

セイジョザワ松本フェスティバル
住母家 玲子
二〇一六年の夏は、三年ぶりに松本生活をおくりました。というのは、二〇一二年に、サイトウキネンフェスティバル「火刑台上的ジャンヌダルク」、二〇一三年には、オペラ「子どもと魔法」のステージに立たせていただいていたからです。

今回はマラー交響曲第二番「復活」。

二月、オーディションを受けに松本へ向かいました。

私は、学校の非常勤講師。アマチュア演奏家枠で合格。三月から平均月三回の練習が始まりました。

松本での練習は、三時間。最寄り駅から松本駅まで四時間半。片道の方が長いのです。その時間を予習や復習にあてなが

らも、あずさの車窓から富士山の写真を撮るのが、私の楽しみになっていました。

音大卒業後、すぐに中学校教員となった私は、生徒指導の大変な生徒と怒鳴り合い、何度も喉をつぶしました。人生は山あり谷あり。

十年前、仕事を辞めてぼんやり家にいましたが、友達の勧めもあり、レッスンを再開すると少しずつ歌えるようになっていきました。

五年前から本格的に演奏活動を始めたら、「火刑台上的ジャンヌダルク」のステージに立つ機会をいただきました。「子どもと魔法」では、夢だった小澤征爾氏の指揮で歌うことができ、CD部門でグラミー賞を受賞したので

す。

面白いもので、演奏活動を始めた途端、学校の仕事も増えていきました。夢のような松本生活ができたので、しばらく仕事に専念しようと決めていました。そんな中、「復活」のオーディションがあると松本の友人が教えてくれたのでした。

歌うことや教員人生が復活できたのです。

マラー「復活」はどうしても歌いたい、歌わなくては、と思って臨んだステージでした。

指揮のファビオ・ルイジー氏は、演奏者の力をグングン引き出す素晴らしい指揮者でした。合唱の出だしはPが4つ。二〇人が一斉に歌いだすのですが、ブレス音がちよつとでも聴こえると曲を止め、ジョークを交えた素敵な言葉を添えてやり直しました。

